

第37回ディスプレイ産業賞(2018)応募要項

当連合会は、ディスプレイを通じて生活文化の向上および国土景観の発揚に寄与することを目的として活動をしています。ここにディスプレイ優秀作品を賞揚し、その成果を公表して、ディスプレイ産業振興と社会認知の向上を目指します。

主催：一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会(略称NDF) 後援：経済産業省・日本経済新聞社

募集開始 2018年7月2日(月) 募集締切 7月20日(金)17:00必着

※応募作品は、原則として返却いたしません。 ※郵送、宅配便等での応募を御願ひ致します。
※締切日は消印日付ではありませんのでご注意ください。※締切後の応募は無効とさせていただきますのでご了承下さい。

賞の種類

ディスプレイ産業振興の見地から審査員の合議により次の各賞を選び、入賞作品のクライアントおよびプロダクション(企画設計・製作施工等)に対して賞を贈ります。

- ・ディスプレイ産業大賞(経済産業大臣賞)・・・1点
- ・ディスプレイ産業特別賞(日本経済新聞社賞)・・・1点
- ・ディスプレイ産業優秀賞(経済産業省商務・サービス審議官賞)・・・5点
- ・ディスプレイ産業奨励賞(日本ディスプレイ業団体連合会賞)・・・10点前後
- ・入選作品(予備審査通過作品)・・・若干数

作品応募部門(本年度より5部門に分かれております)

- 1文化・公共施設部門
博物館、美術館、科学館、資料館、ホール、学校、公共施設、公園
- 2余暇・観光施設部門
ホテル、旅館、リゾート施設、ステーション(駅・空港)空間、交通・観光情報、遊園地、テーマパーク、ブライダル施設等など
- 3商業・複合施設部門
物販店、専門店、飲食店、百貨店、量販店、ショッピングセンター、ショールーム、チェーン店、医療施設、福祉施設、オフィス環境、環境サインなど
- 4博覧会・展示・イベント・演出部門
博覧会、展示会、見本市、コンベンション・エキジビジョンなど
- 5プロモーション・演出部門
スポーツ・音楽・演劇・興行など。ショーウィンドウ、インスタディスプレイ、フロアディスプレイ、広告ディスプレイ、サイネージ・イルミネーション、インスタレーション、モニュメント、オブジェ、グリーンディスプレイ、ストリートディスプレイ、パレード、広告POPプロジェクトマッピング、グラフィックディスプレイなど

審査対象

- ・2017年4月1日～2018年3月31日までに開催または竣工、開業している作品、プロジェクトの写真、図面、コンセプトなどをボードにしたもの。
- ・過去に当賞又は同様の賞に応募された同一作品での応募は一切不可。

審査項目(デザイン重視ではなく、産業賞という名前にふさわしい各地域に密接し地域活性化や経済活動に貢献したものの、話題性や新しい技術に優れたもの等下記の項目を重視した選考をさせていただきます。)

- ①社会性 地域貢献、省エネ、ユニバーサル、少子高齢化、沈滞商業活性、雇用創出など、地域社会の課題解決を目的としたプロジェクト。環境配慮や社会生活に寄与する、継続的活動や持続可能なプロジェクト。
- ②新しい技術 新しい技術が使われていること。新産業や地域活性化に寄与する、斬新なアイデアや優れたクリエイティビティー革新的な表現技術やコミュニケーションシステムの登用。
- ③話題性 産業・社会・文化の発展に先導的な役割を果たし、波及効果が大きく期待できる活動やプロジェクト。
- ④経済効果 経済効果に貢献していること。集客力、国内外への情報発信力など。
- ⑤景観 景観を重視していること。良質な街並み形成や都市景観、また周辺環境との調和や上質化に顕著なプロジェクト。
- ⑥地方において活躍している企業をクローズアップ 時代をリードする仕掛けや提案がある。地域活性／市場の拡大に効果が顕著なプロジェクト。

応募方法

下記応募送付物①から④を当連合会事務局へ送付してください。

②から④は7/1より当連合会HPよりダウンロードして下さい。

①写真(作品ボード)(必須)

- ・A3イラストボード(厚さ2mm以内)で1作品3枚以内。(4枚以上無効)

②応募資料1(必須): 作品/プロジェクトの詳細を記入する応募資料票

- ・応募資料票は、重要な情報となりますので、漏れなく入力(記入)し、写真(作品ボード)に同封して下さい。写真(作品ボード)に貼付は不可。
- ・応募資料票に記載された作品名、クライアント、プロダクション名等詳細項目の受賞後の変更、追記、訂正は一切不可となりますのでご了承下さい。
- ・応募社もプロダクション欄に必ず記入してください。記入もれの後日追記は致しかねます。
- ・応募責任者と、当連合会事務局から連絡をする際の担当者が違う場合はその旨を資料票に記載して下さい。

③応募資料2(必須): コンセプト記入票

- ・「審査項目一覧」を参照し、注力した要件3件以上を選び、それぞれについて約200文字記入して下さい。
- ・写真(作品ボード)に同封して下さい。写真(作品ボード)に貼付は不可。

④応募資料3(必須): ボードカード(作品枚数詳細)

- ・作品名、分類、作品ボードの枚数と順番を記入し、写真(作品ボード)裏面に剥がれないように写真ボード右上に貼って下さい。写真(作品ボード)の数だけ必要となりますのでご注意ください。
- ・1作品1枚ではなく、全ての写真(作品ボード)それぞれの裏に1枚ずつ貼って下さい。

※尚、作品ボードや応募資料票が、上記の項目に違反している作品、又は剥がれている場合は失格となる恐れがありますのでご注意ください。

※審査料 1作品3,000円: 応募書類締切後、請求書を送付予定。
但し、誠に勝手ながら会社毎へまとめた請求とさせていただきますのでご了承下さい。
支店ごとに請求書がご希望の場合は事前に事務局迄ご一報下さい。

審査員一覧(敬称略) 審査会日程:9月7日

審査員長	橋爪 紳也(大阪府立大学21世紀科学研究機構教授)
審査員	(経済産業省)
	小松 潔(日本経済新聞社 常務執行役員文化事業担当)
	吹田 良平(都市開発プランナー 株式会社アーキネティクス代表取締役)
	柘植 喜治(国立大学法人千葉大学大学院教授)
	野老 朝雄(アーティスト/TOKOLOCOM主宰)
	彦坂 裕(建築家・環境デザイナー 株式会社スペースインキュベータ代表取締役)
	森田 りえ子(日本画家/京都市立芸術大学客員教授)
	湯澤 幸子(多摩美術大学准教授/公益社団法人商業施設技術団体連合会会長)
	涌井 史郎(造園家/東京都市大学教授/岐阜県立森林文化アカデミー学長)

その他

■注意事項

- 作品に盗作や写真データの加工・修正などの問題が確認された場合、又は過去の受賞作品の不正応募等は審査終了後でも、賞の取消となります。
- 応募者は、同一の作品の重複応募がないよう、事前に関係者間の調整を済ませた上で応募してください。
- 作品の著作権、写真使用权、出版権、工業所有権などの管理や手続きは、応募者の責任で事前に行なってください。
- 作品写真などの著作権はその著作者に留保されますが、賞作品は当連合会の刊行物・ホームページ・展覧会などで発表致しますので、写真使用・画像データのCD化権利は当連合会に付与していただきます。許諾を得られない時は賞の取消しとなります。又、応募資料票の撮影・図版欄にその著作者名の表示がないものは著作者の氏名表示を不要とみなします。
- 掲載発表等・その他
- 入賞者、入選者の方々には当連合会より速やかに入賞、入選の旨をご連絡差し上げます。
- 入賞者を贈賞式(10月30日)に全員お呼びして、賞の詳細は贈賞式にて発表します。
- 当連合会ホームページ、機関紙等において掲載されます。「年鑑 ディスプレイ産業賞2018」の収録。
- 「年鑑・日本の空間デザイン2019」の収録はございません。
- 個人名での応募は一切お受け致しませんので御了承ください。

応募作品送付先・問合せ先 (一社)日本ディスプレイ業団体連合会 事務局
104-0031 東京都中央区京橋3-9-4 新京橋ビル9階
TEL 03-5524-3101 FAX 03-3564-6116 メール award@display.or.jp